



くすい箱

発行

桐生厚生総合病院 薬剤部

発行責任者 阿部 正樹

編集担当者 下山 遥

千吉良 啓介

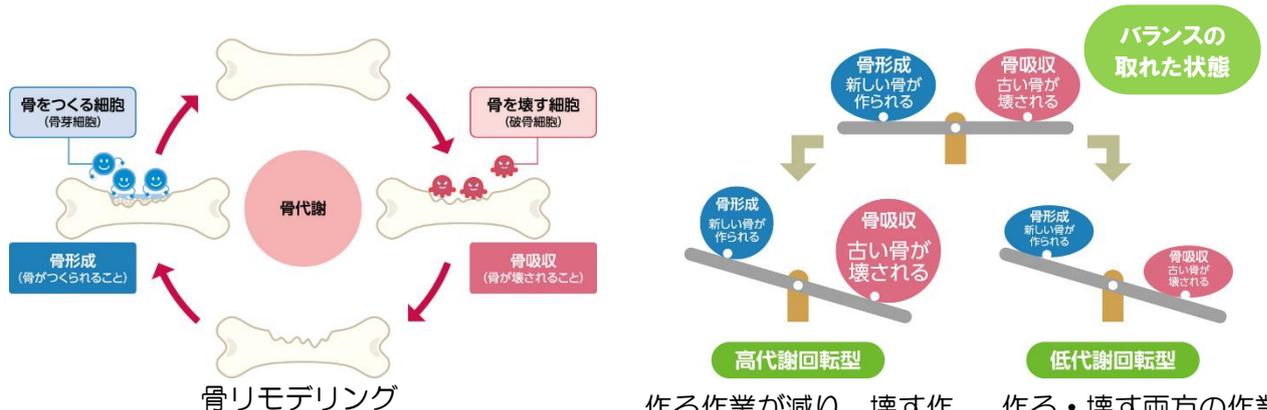
第76回目のテーマは、“最新の骨粗鬆症治療と治療薬の注意点”についてです。

前回、FLS（骨折リエゾンサービス）チームの当院における活動についてご紹介しました。今回は実際に骨粗鬆症治療に用いられるお薬について、特徴や注意点についてご紹介します。

💊 どうして骨粗鬆症になるの？

骨は成長期にカルシウムを蓄積し、女性は15～18歳頃、男性は20歳前後に人生最大の骨量に達します。成長期以降は「骨リモデリング」と呼ばれる骨の新陳代謝を常に繰り返しながら、40歳半ば頃まで最大骨量が保たれます。

骨は硬い組織ですが、骨リモデリングによって常に「古い骨を壊す作業」と「新しい骨を作る作業」の両方が繰り返されています。加齢や女性ホルモンの減少、カルシウム不足などでこの代謝のバランスが変わり、失われた骨量を十分に回復することができなくなると骨量減少が始まります。



作る作業が減り、壊す作業の割合が上回る。

作る・壊す両方の作業が減るが、結果的に壊す作業が上回る。

💊 骨粗鬆症の治療薬について

骨粗鬆症治療薬には古い骨を壊す作業を抑える**骨吸収抑制薬**と、新しい骨を作る作業を促す**骨形成促進薬**の2つに大きく分類されます。

骨粗鬆症による骨折予防のためには、勝手に途中でお薬を止めたりせずにお薬をコツコツ続けることが重要となります。骨粗鬆症治療薬には様々な剤型・投与間隔の製剤があるため、お薬を続けていくためには自分の生活に合った薬を選ぶことが大切です。

また、裏の表に示したお薬以外にもカルシウムを補給するカルシウム製剤や、カルシウムの吸収を補助するビタミンD製剤、カルシウムを骨に維持する効果を持つビタミンK製剤も多く使用されます。骨粗鬆症とビタミンDについては本誌66号で詳しく紹介しています。ぜひ合わせてお読みください。



| お薬の種類 | 剤型 | 投与間隔 | 特徴・注意点など |
|---|-----------------|-----------------------------|--|
| 古い骨を壊す作業を抑える骨吸収抑制薬 | | | |
| SERM 製剤 エビスタ® ピビアント® など | 内服 錠剤 | 1日1回 | 静脈血栓症の副作用があるため、大腿骨骨折後など十分に歩行できない間には使用できません。 |
| ビスホスホネート製剤 ボナロン® フォサマック® ベネット® アクトネル® リカルボン® ボノテオ® ボンピバ® リクラスト® など | 内服 錠剤 ゼリー | 1日1回 週1回 4週に1回 月1回 | 起床時に内服し30分間（ボンピバ®は60分間）は飲食を避け身体を起こしている必要があります。食べ物の中のカルシウムと混ざるとお薬がうまく吸収されなくなるため朝食と間隔を空ける必要があります。同じ理由で、水以外での服用はできません。 水の中でもカルシウムを多く含む硬水のミネラルウォーターで薬を飲むと、薬の効果が下がってしまうため、軟水の水（水道水など）でお薬を飲みましょう。 |
| | 静脈注射 点滴静脈注射 | 4週に1回 月1回 年1回 | 点滴薬には内服薬のように、食事の制限はありません。 リクラスト®は投与間隔が1年と現在使用されているお薬の中で最も長いです。 |
| 抗RANKL 抗体製剤 プラリア® | 皮下注射 | 6カ月に1回 | 投与間隔が長く、通院の負担が少なく済みます。しかし、中断すると急激に骨が弱くなるオーバーシュートが起こる可能性があるため、勝手に通院を止めたりせず、他の薬に切り替える必要があります。 |
| 新しい骨を作る作業を促す骨形成促進薬（副甲状腺ホルモン製剤） | | | |
| フォルテオ® テリパラチド BS | 自己注射 | 1日1回 24カ月間 | バイオ後続品が発売されており、骨形成促進薬の中ではお薬の値段を抑えられることがあります。 |
| テリボン® | 皮下注射 自己注射 | 週1回 24カ月間 週2回 24カ月間 | 現在注射しかない骨形成促進薬の中でも、注射間隔が毎日ではないため、注射が苦手な方におすすめです。 |
| オスタバロ® | 自己注射 | 1日1回 18カ月間 | 電動でお薬が注射される電子デバイスで注射を行います。 |
| 骨を作りながら壊れるのを防ぐ薬 | | | |
| 抗スクレロスチン抗体製剤 イベニティ® | 皮下注射 | 月1回 12カ月間 | 1年以内に虚血性心疾患・脳血管障害の既往歴があると使用できません。 |

《参考資料》 公益財団法人 骨粗鬆症財団
各種添付文書
AMGEN「イベニティによる骨粗しょう症治療を受ける方へ」

次回は、2025年9月発行予定です。

